



笑顔発信!

おおまき小



佐渡の魅力を満喫 6年生修学旅行

6年生は6月4日(木)から1泊2日で佐渡へ修学旅行に行ってきました。旅行前に事前学習として佐渡の歴史や文化について調べ学習を行い、調べたことと実際に見たり触れたりしたことを比較して、より深く佐渡の魅力を学ぶことができました。

初日は、たらい舟に乗って実際に漕いでみたり、生のイカを裂いて一夜干しを作ったりしました。そして、子どもたちが楽しみにしていた「砂金取り」もしました。全員が砂金を取って持ち帰ることができました。夕食時には、佐渡の伝統芸能である「鬼太鼓」を楽しみました。2日目は、キラリウム佐渡を見学して佐渡金山の歴史を学んだ後、佐渡金山を見学しました。資料館では金の延べ棒を持ち上げることに挑戦しました。

佐渡の魅力を満喫すると共に、南魚沼のよさを再発見できた2日間でした。



いじめは絶対にしない、させない、ゆるさない

18日(水)に「いじめ見逃しゼロスクール集会」を行いました。各クラスでいじめについての授業を行い、「いじめをしない、させない、許さない」ためにどんなことに気をつけ、どんな行動をしたらいいのか、そしてどんなクラスにするのかなどの考えを出し合い、スローガンを作りました。

1年生 伝えようふわふわことば 頑張っている人にほめほめことば 困っている人に大丈夫 失敗したときはドンマイ みんな仲良し1年生

2年生 いじめ見逃しゼロ いいところほめて みんな笑顔に

3年生 やさしい言葉遣いで みんなと仲良くする

4年生 みんなで助け合い やさしい言葉で 友だちを守る4年生

5年生 All For One 一人一人の小さな言葉で 気持ちを明るく元気で楽しいクラス

6年生 いい気持ちで差別なし・文句なし みんな平等 楽しい生活6年生

クラスで話し合って決めたスローガンです。「決めて終わり」ではなく、常に心に留めて、毎日を生活してほしいです。

素直に言えるようになりたい大事なことは

新潟県は、乳幼児期からの愛情による絆で結ばれた家族とのふれ合いを通じて、こどもが基本的な生活習慣、人に対する信頼感、他人に対する思いやりや善悪の判断、自立心や自制心、社会的なマナーなどを身に付ける上で、家庭教育が重要な役割を担っていると捉え、「家庭教育支援ガイドブック」を作成しました。

PTA総会でもお伝えしたように、「子どもを真ん中において、地域、保護者、学校がスクラムを組み、一体となって、自立した子どもを育てる」ために、ガイドブックに掲載されている資料を紹介していきます。

「ありがとう」

「ごめんなさい」

言うにはちょっと勇気がいるけれど、言われると心が温かくなったり、緊張がホッと緩んだりする思いやりの言葉があります。



ありがとう

どういたしまして



日頃から耳にしない言葉は、うまく使えるようにはなりません

- ★「ありがとう」を言う場面はたくさんあります
親がお手本を見せましょう
- ★家族で、ささいなことでも日頃から「ありがとう」と言う習慣を付けましょう

家庭で、日常的に耳にすることで、 どんなときにどんなふうに使うのかを覚えます

★「ごめんなさい」も

大人のお手本が大切です

★謝罪を受け入れる姿も

見せましょう



ごめんなさい

いいよ

(次は〇〇しよう)

★「ごめんなさい」を

言えた勇気を認めましょう

・悪いことしちゃった
・心配かけちゃった
・迷惑かけちゃった



心を込めて言えると相手の心に伝わります

学校HP 毎日更新中です

こちらから →



日常の授業の様子をはじめ、「元気いっぱい やる気いっぱい」な子どもたちの姿や学校の取組等については学校HP「学校日記」をご覧ください。